

人体の構造と機能Ⅲ	1 年・後期	1 単位 15 時間	教授 堀金幸栄
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32110231

1. 授業のねらい・概要

看護学生が看護の対象である人間を理解するためには、その生物学的側面である人体の構造と機能を学習する必要がある。人体の構造と機能の科目では、解剖学と生理学を結びつけて学習し、学生が複数の要素を理論的にまとめた内容として理解できるようになることを目的とする。Ⅲでは、消化器系、泌尿器系について学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 学生が、食欲・咀嚼・消化・吸収・排泄のプロセス・しくみを説明できる。(D-2)
2. 学生が、上部・下部消化管の構造と機能を説明できる。(D-2)
3. 学生が、肝・胆・膵の構造と機能を説明できる。(D-2)
4. 学生が、腎臓・尿管・膀胱・尿道の構造と機能を説明できる。(D-2)
5. 学生が、泌尿器系による体液の調節、排尿のプロセス・しくみを説明できる。(D-2)
6. 学生が、消化器・泌尿器科疾患を理解するために、消化器系、泌尿器系の解剖生理学的知識を説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進めるが、動画の視聴や参考資料のプリントの配布も行う。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして小テストを行う。

【ICT 活用の有無】

小テストの範囲を Google Classroom にて指定する。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	消化器系 1) 概論, 食欲, 咀嚼 P292～304	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。	堀金幸栄
2	消化器系 2) 嚥下, 食道, 胃, 小腸 P305～317	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。	堀金
3	消化器系 3) 肝・胆・膵 P318～329	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。	堀金
4	消化器系 4) 吸収, 排泄 P330～338	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。	堀金
5	泌尿器系 1) 概論, 腎臓・尿管・膀胱・尿道の構造 P268～275, 283～285	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。	堀金
6	泌尿器系 2) 腎臓の機能 P276～282	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。	堀金
7	泌尿器系 3) 体液の調節 P256～265	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。	堀金
8	泌尿器系 4) 排尿の生理 P286～289	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲	堀金

	定期試験		を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：定期試験で間違ったところを中心に復習する。	
--	------	--	--	--

5. 成績評価の方法・基準

毎回の授業冒頭の小テスト（2 点/回 x8 回＝16 点）と定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）84 点の合計 100 点満点で評価する。小テストは事前に問題を出題する。定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てで，試験問題の点数は授業時間に比例して配点する。評価基準の詳細は單元ごとに示す。成績評価は，「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価表を基に採点する。尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，第 1 回講義内で別途説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：武田裕子，林正健二 編（2023）：ナースング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 第 5 版 メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 90 分の予習及び授業内容について 90 分以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の結果と模範解答は後日掲示する。質問・疑義は授業で，あるいは適宜個別に説明・対応する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。（履修要項・学生便覧参照）

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

看護師ならびに看護系研究者としての実務経験を活かして，講義を行う。